



第30期
2017-2018

2018-6月号

国際会長主題 ともに、光の中を歩もう

アジア会長主題 ワイズ運動を尊重しよう

東日本区理事主題 広げようワイズの仲間

富士山部長主題 生き生き仲良し富士山倶楽部

富士会長主題 豊かな心で楽しい活動

第30期クラブ役員

会長 漆畑 義彦 書記 高野 亨
A副 増田 隆 会計 小澤 嘉道
B副 吉澤 廣美 監事 樫村 好夫
監事 仲澤 昭夫

*富士クラブ6月例会

日時 2018年6月13日(水) 18:30~
場所 ホテルグランド富士
受付 岩辺富雄君 小澤嘉道君
司会 仲澤昭夫君
1. 開会点鐘 漆畑義彦会長
1. 開会の辞 高野 亨君
1. ワイズソング、ワイズの信条 司会
1. 区理事・部長・会長主題の唱和 司会
1. 会長挨拶 漆畑義彦会長
1. ゲスト、ビジター紹介 漆畑義彦会長
1. 食前の感謝 金井 淳君
1. 樫村弘子ワイズ追悼例会
1. 誕生日
1. 各委員会報告
1. 書記、会計、事務局報告
1. 出席率・スマイル報告
1. 閉会の辞 吉澤廣美君
1. 閉会点鐘 漆畑義彦会長

※6月誕生日 6/29 増田 隆君
6/30 仲澤昭夫君

巻頭言

樫村 弘子 Ys 逝く 漆畑義彦

富士ワイズメンズクラブの誕生は1988年、チャーターナイトはアイエフ会館で行われた。お茶会を開き、お抹茶でのおもてなしはクラブメネットの協力のもと、全員和服で行われ、初代樫村会長メネットとして華やかなスタートを飾った。

以来、富士クラブの役員会は樫村会長の自宅で行われた。役員会以外にも、行事の話・ゴルフの打上げ・遊びの話など特にお酒の話などことあるごとに、いや理由を作ってお酒を飲む機会を作りました。樫村弘子メネットの手料理を食べなかった富士クラブのYsはいません。樫村好夫Ysの業績は申し上げるまでもありませんが、弘子夫人には30年もの長きにわたり毎月樫村宅に集まり役員会・会議のあとのお酒と手料理といつでも宴会になりお世話になりました。その内助の功は言葉では言い表せません。

出かけるときは『いつでも・どこでも』2人一緒 東日本区では羨望の的でした。これからも富士クラブを見守ってくださいありがとうございました。

(次ページに続く)

在籍数	19名	出席数	12名	スマイル	12,000円	C S 基金	2,631円
功労者	1名	出席率	66.7%	同上累計	108,000円	同上累計	5,881円
連絡主事	1名	ゲスト		ビジター		計12名	

追記

初七日のすんだ5月26日榎村ワイズより電話をいただきました。榎村弘子Y sの遺志により多額の寄付をいただけるとの電話でした。27日自宅にお伺いすると帯封の日付は2013.12.27で約5年も前に準備してくれたものでした。榎村弘子基金を作り大切に活用したいと思います。6月13日の富士クラブ例会に正式に受領式を行うこととします。

5月例会

富士市文化振興課の佐藤祐樹様に中原第4号古墳を中心に富士市の古墳について話を聞きました。有力者がいて日本各地と繋がり、埋蔵品からも地位の高さがうかがわれました。



富士市の古墳の話を熱心に聞きました

富士山 YMCA 感謝祭



自分で作る綿菓子 50 円、盛況でした

東日本区大会（沼津市）



マイタイム

野球のともしび

増田 隆

毎日のようにテレビ、ラジオ、新聞で大リーグの二刀流として活躍している大谷選手のニュースを見ない日が珍しいぐらい流れています。いろいろなスポーツがある中で野球がトップニュースになっています。特に大リーグ関係の日本人選手の活躍を先に放送し、そのあと日本のプロ野球の結果を放送というのはちょっと順序が違うのでは、と思うのは私だけでしょうか。

私が少年だった昭和の時代は、ちょっとした広場があると子供たちが集まり、いわゆる三角ベースの野球が始まりました。人数は9人いなくても試合は成立。暗くなり親が呼びに来るまで明けても暮れても野球三昧でした。そのようなわけで中学、高校と迷うことなく野球部に入学しましたが、上には上がいるもので自信を無くしかけてましたが何とかやり遂げました。今思えば、周りはすぐに甲子園などと結果に結びつきますが現実はそのような甘いものではないことを悔しいがわかっていました。しかし青春の貴重な時間を野球一筋に打ち込んできた者にとっては、先輩後輩、矛盾、理不尽が当たり前の世界でした。しかしそれらを逆手に取り暗い部活の空気を何とかポジティブにと、夏の合宿では練習は辛く苦しいが合宿は楽しくやろうじゃないかという事で夜は1年生から3年生まで全員で歌合戦を行いました。その時、流行っていた歌が「高校三年生」でした。風呂も裸の付き合いでみんなで入浴しました。今でもOBが集まるとその時の写真を見て話に花が咲きます。

最近の中体連の野球大会の参加校が野球人気の低下や少子化の影響で部員が思うように集まらず、廃部、若しくは2校合同チームが目につきます。地元の高校野球の監督さんから聞いた話ですが公立高校の野球部の新入部員の減少は歯止めがかからないそうです。そしてあと5年～10年もしたら廃部や統合チームが増えることは間違いないと危機感を感じています。部員減少傾向の公立高、増加傾向の私立高とますます二極分化が進みそうです。この流れはきっと後戻りすることはないでしょう。この町を愛する私はただ昔を懐かしむだけでなく私を育ててくれた野球に対する恩返しのためにも、野球を愛する昭和の人間としても「野球のともしび」をともし続ける事が使命だと信じて。

たかが野球、されど野球。